

防潮堤整備のゆくえ

安全優先に消える浜辺

気仙沼市 自然壊す 本音「反対」も

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた気仙沼市の沿岸部に、最大14・7㍉の防潮堤を整備する計画が打ち出されてから間もなく2年。安全のため早期整備を求める地域がある一方、海と暮らしを隔てる巨大堤防の計画に、「自然、景観を壊す」「高過ぎる」など困惑した地域も多かったが、本音は「反対」でも復旧・復興への影響を懸念するなどして、78海岸のうち7割で整備計画に合意した。この1年で次々と着工を予定している。

(今川悟)

防潮堤が東日本大震災の津波を防ぐ高さ5～14・7㍉が示された。津波を防ぐ高さ5～14・7㍉が示された。津波を防ぐ高さ5～14・7㍉が示された。津波を防ぐ高さ5～14・7㍉が示された。

「海が見えずに避難が遅れる」「避難道を先に整備すべき」など反対、疑問が噴出した。市民有志による「防潮堤を勉強する会」も開催され、住民の意向を反映した防潮堤整備を求める声が高まった。

しかし、地区ごとの説明会に移行すると、明会を予定している大

島小田の浜、田中浜も背後地整備を含めた調整が続いている。漁港の防潮堤は、市管理分はほとんどの地区で合意を得たが、利用者が多い県管理分は住民との話し合いに時間が掛かっている。特に住民の思い入れが強い唐桑町の鮪立は、高さに対する反論もあって混乱している。

河川堤防はほぼ合意に達しているが、国道45号、JR気仙沼線との調整、用地買収などの課題が山積し、工事着手が遅れている。新たな防潮堤でも、東日本大震災級の津

波は防げず、背後地は広範囲にわたって災害危険区域に指定された。居住が制限され、市中心部以外ではまちづくりの計画もなく、防潮堤整備ばかりが先行することに疑問を持ち続けている市民は多い。



合意が難航している鮪立漁港。港には堤防高を示すオレンジ色の網が張ってある



海抜9・8級の防潮堤工事が進む野々下海岸。ここには地元の
人に親しまれた砂浜があった

気仙沼市内の78海

岸のうち、すでに9

今年2月に着工し

海岸で防潮堤工事が

た野々下海岸では現

始まっている

在、防潮堤の

県が管理する

基礎工事に入

農地海岸で、

が進められて

すべて震災前

の岩礁帯

の高さに戻す

で矢板が打ち

原形復旧だ

込めないた

が、本吉町大

め、波よけの

谷の野々下海

土砂を積み上

岸(林野庁所

げており、防

管の治山施設)

潮堤本体は来年1月

レベル1堤防として海

末の完成を目指して

抜9・8級で整備す

いる。

レベル1堤防 野々下で着工

整備位置で調整

高さ変更には応じず

すべての海岸で一定 ことで、背後の丘と防
の安全水準を確保する 潮堤(海抜9・9級)を
1という考えのもと、 すり付ける計画が示さ
防潮堤の設計高は堅持 れている。漁港の利便
され続けている。住民 性に対する影響を抑え
の要望には、整備位置 るとともに、地盤から
を陸側にセットバック 実質的な堤防高が低く
することに対応してき 見えるという。宿舞根
た。

例えば、小鯖では海 高の計画となっている。
岸線から最大100級 高さの変更には応じ
ほどセットバックする ないが、宿舞根の一部

のよつに、明治三陸級
津波を防ぐレベル1堤
防から原形復旧へ切り
替えたところ、神止浜
のように原形復旧から
レベル1堤防への変更
を検討しているところ
もある。

ほかに原形復旧の
要望を受けた漁港が
あったが、背後地の住
宅を補修して住み続け
る意向があり、レベル
1堤防が必要と判断し
たケースもあった。元
に戻すことを基本とし
た災害復旧で、数倍の
高さの堤防を造り直す
仕組みに無理があり、
住民を混乱させてい
る。
安全のための必要性
への理解を示しながら
も、巨大堤防整備に対
する異論の声は消えな
い。

2013年7月20日付「三陸新報」
暑中特集 4面②

気仙沼市内の海岸防潮堤の整備計画状況

	海岸名	高さ(m)	合意
市	唐桑大沢	8.0	○
	館	11.3	○
	岩井沢	11.3	○
	戴鈎	11.3	○
	只越	11.3	○
	石浜	11.3	○
	宿舞根	2.6~9.9	○
	神止浜	4.4~11.2	
	滝浜	11.3	○
	津本	11.2	
	鶴ヶ浦	2.5~9.9	○
	磯草	7.0	
	要害	4.1~7.0	○
	駒形	7.0	○
	横沼	5.1~7.0	○
	長崎	11.8	
	川原	7.2	○
	杉ノ下	9.8	
	大谷	9.8	○
	前浜	9.8	○
赤牛	9.8	○	
津谷大沢	9.8	○	
土台磯	4.5	○	
二十一浜	14.7	○	
蔵内	9.8	○	
県管理漁港	鮪立	9.9	
	小鯖	9.9	
	気仙沼	5.0~7.2	
	浦の浜	7.8	
	松岩	7.2	
	波路上	7.2	
	日門	9.8	
	荒谷前	11.3	○
	稲村浜	4.5	○
	後馬場	11.3	○
建設海岸	高石浜	4.5	○
	西舞根貝浜	3.2	○
	田の浜	9.9	○
	日向貝	3.2	○
	龜山磯草	3.2~7.0	○
	磯草	7.0	○
	高井浜大向	4.5~7.0	○
	中沢	4.5~7.0	○
	片浜	7.2	○
	千岩田	7.2	○
	台の沢	7.2	○
	最知	7.2	○
	岩井崎	9.8	
	杉ノ下	9.8	

建設海岸	沖の田	9.8	○
	大谷	9.8	
	中島	14.7	○
農地	中の浜	4.5	○
	船尻	4.5	○
	中井地	4.5	○
	社松	4.2	○
	鶴ヶ浦	3.0	○
	田の尻	4.0	○
	横沼	4.5	○
港湾	登米沢	4.5	○
	御崎港	11.2	
	梶ヶ浦	7.2	
	小々汐	7.2	
治山施設	朝日	7.2	○
	高石浜	6.2	○
	田中浜	11.8	
	小田ノ浜	11.8	
	へノ浜	4.0	○
	温浜	4.5	○
	尾崎・千岩田	7.2	○
	崎野	7.2	
	岩井崎	9.8	○
	御伊勢浜	9.8	
	沖ノ田	9.8	○
	沖ノ田・野々下	9.8	○
野々下	9.8	○	
大谷(沼尻)	9.8	○	
三島	9.8		

※合意形成は高さとして復旧位置について概ね理解を示した地区に○印。高さの赤字は原形復旧

※ 網掛けはすでに着工した地区

2013年7月20日付

「三陸新報」暑中特集③